



郡山市立谷田川小学校 学校だより

宇津峰

令和7年度 第24号
令和7年10月17日
文責 校長 山下嘉寿夫

情操教育や社会性の育成・生命の尊重 ～小動物の飼育を通して～

現在、低学年の子どもたちは小動物の飼育に夢中です。子どもが小動物を飼育することには、多くのメリットがあると言われてい



ます。子どもの情操教育や社会性の育成に大きな効果があると考えられ、また、命の尊さや責任感の学び、思いやりや共感性の育成、忍耐力・観察力の向上、精神的な安定・ストレスの軽減などが期待されます。しかし一方で、適切な管理が行われない場合には、動物にとって残酷な状況を生み出したり、子どもにとって精神的な負担となったりするデメリットも存在します。世話がされずに動物が死んでしまうケースや、飽きてしまったことによる放置のリスクはメリットを上回るデメリットにもなりかねません。小動物の飼育を成功させ、メリットを最大限に引き出し、デメリットや残酷な結果を避けるよう努めるとともに、たとえ動物が死んだとしてもそこから学んだり、悲しい感情をもったり、その後の成長や考え方にプラスにしていかなければなりません。そこにはやはり大人の責任と適切な関りが不可欠なのではないかと考えています。

持久走記録会に向けての取り組みがスタートしました

11月実施予定の持久走記録会に向けての取組が始まりました。朝8時15分になると音楽が流れ、子ども達が一齐に校庭に出てきます。次の曲が始まると曲が終わるまで校庭を走り続けます。一定時間内に自分のペースを保ちながらどれだけの距離を走ることが出来るか、自分の目標を設定しての挑戦です。慣れないうちは体のあちこちが痛んだり、疲れが出たりするかもしれませんが、慣れてくると体が軽く感じてくると思います。持久走は体力の面でも心の面でもあきらめず続けていくことが大切ですので、継続して頑張りきれるようご家庭でも励ましの声掛けをお願いいたします。



教育委員会による管理訪問が行われました ～子どもの安心・安全を守る～

昨日、郡山市教育委員会による学校管理訪問が実施されました。管理訪問とは、学校施設、設備の安全を確認するとともに、学校に保管するべきものが適切に扱われているか確認するもので、児童の安心、安全を守るため欠かせないものです。教育委員会の指導を基に、今後も児童の安全を最優先し、安心して登校できるよう環境を整え、教育活動にあたっていきたいと思います。

「幸運は準備された心にのみ宿る」～ノーベル化学賞受賞者北川進さんの話から～

ノーベル化学賞を受賞した北川進さんがインタビューを受けている場面をたまたまテレビで見たこと。是非子どもたちにも聞かせてあげたいなあ」と思う話をしていましたので、ここで紹介したいと思います。

北川さんは子どもたちに伝えたい言葉として、細菌学の父と呼ばれているルイ・パスツール(フランス)の言葉をあげました。「子どもたちには難しいかもしれないけど、ルイ・パスツールが『幸運は準備された心にのみ宿る』という名言を残しています。私の今の流れをみたときに、いい先生、友達、学会での付き合いに恵まれた。それは準備された心なんです。ある日突然宝くじを引いて当たったわけじゃない。いろんな経験を大切にしていくとそれが将来花開く、そう言いたいですね」

なるほど、重みのある言葉です。ノーベル化学賞をいただくほどの人はみんな天才か何かと思いがちですが、日々の生活の中で人との繋がりを大切に、たくさんのお話を交わし、経験したすべてのものを大切にすることで、科学の世界を紐解く鍵に結び付けていたのです。「人生において無駄なことなど何もない」と言われた方がいましたが、どんな出来事も「準備された心」にしていける気持ちが大切なのだと、自分自身でも心がけたいと強く感じた話でした。

体調管理をお願いします ～欠席が多くなってきました～

今年の夏の様子だと10月も暑くなるのかと思いきや、急激に気温が下がり、最近では朝晩の寒さを感じるようになりました。しかし、日中には気温が上がり、元気いっぱい運動したり遊んだりした子どもたちは、汗をかきやすい状況になります。すると、体温調節・管理が難しくなり、体調を崩し欠席する子どもが多くなってくるのだと思われます。症状としては発熱、鼻水などの風邪症状がほとんどです。脱ぎ着しやすい服装で登校できるよう準備していただくとともに、汗を拭くようなタオル、ハンカチを持たせていただければと思います。



ヤワな大人にならない「生きかたルールブック」 ～ その二十一 ～

《生き方ルール30》

「『いつも通り』を捨てる覚悟をもつ」

新しい自分になりたいなら、「いつも通り」を捨てる覚悟が必要だよ。変化を恐れず、ゼロからスタートすれば、うまくいくことって結構あるんだ。

【ちょっと一息 コーヒーブレイク】 ～子どもとの話題作りに～

1994年10月17日、「全国カラオケ事業者協会」が設立され、この日を「カラオケ文化の日」としたそうです。カラオケは日本人の娯楽のみならず、今では世界的に人気の娯楽になっており、カラオケの世界大会も開催されているようです。皆さんの中にもカラオケにいった経験があるという方が多いのではないのでしょうか。私も昔はよくカラオケに行きましたが1度だけカラオケで100点を取ったことがありました。(昔の採点機は大声を出すが高得点が出ました)そこで問題です。私が1度だけ100点を取ったことのある曲とは何でしょう。かなり、どうでもいい問題で申し訳ありません。

① ギンギラギンにさり気なく(近藤真彦) ② 愚か者(近藤真彦) ③ ハイティーンブギ(近藤真彦)

前回の答えは ② 16個 でした。